

最近、ゲームや漫画で取り上げられている近代作家の作品が多いそうです。皆さんは、読んだことがありますか？日本文学は海外からの評価も高いようですよ。

そんな日本文学の名作中の名作を、まだ読んだことのない人のために紹介します！



『舞姫』 森 鴎外 著

主人公はドイツ語とフランス語の翻訳の仕事がもらえるような秀才だ。日本に帰れば出世の道があり、名誉挽回もできる。しかし、ドイツには、自分の子供を身ごもったエリスがいる。「出世」か「愛」か。悩み苦しむ主人公の決断とは？

『鼻』 芥川 龍之介 著

主人公の僧は五～六寸の大きな鼻を持っていた。鼻のせいで食事もできない。人に笑われ、バカにされて心が傷ついていた。ある日、医者から鼻を短くする方法を教わり、鼻を短くすることに成功するが……。

夏目漱石が絶賛した作品です。



『吾輩は猫である』

夏目 漱石 著

「吾輩は猫である。名前はまだ無い。」の書き出しで有名な漱石の代表作。言葉は知っていても読んだことがある人は少ないのでは？猫から見た人間の滑稽さを描いた作品です。



図書館には、他の有名作家さんの本もたくさん置いてあります。ぜひ、読んでみてください。

【夏休み中の開館】

○開館日

7月22日(月)～31日(水)

8月19日(月)～26日(月)

○貸出冊数

1人5冊まで

○開館時間

昼休み～16時50分

○返却期限

8月27日(火) 始業式